

## 広島県北広島町におけるヤマセミの繁殖状況

上野 吉雄<sup>1)</sup>・石井 秀雄<sup>1)</sup>・茶村 真一郎<sup>1)</sup>・斎藤 裕子<sup>1)</sup>・能城 光秀<sup>2)</sup>・麻生 貞之<sup>3)</sup>・前田 要<sup>4)</sup>・桑野 修<sup>5)</sup>

<sup>1)</sup> 日本野鳥の会広島県支部・<sup>2)</sup> 安芸郡海田町蟹原・<sup>3)</sup> 広島市安佐南区大町西・

<sup>4)</sup> 広島市安佐北区鈴張・<sup>5)</sup> 島根県邑南町

### The Breeding status of Crested Kingfisher *Megaceryle lugubris* in Kitahiroshima-cho, Hiroshima Prefecture

Yoshio UENO, Hideo ISHII, Sinitiro CHAMURA, Yuko SAITO, Mitsuhide NOSHIRO, Sadayuki Aso,  
Kaname MAEDA and Osamu KUWANO

#### はじめに

ヤマセミ *Megaceryle lugubris* はインドシナ半島北部，中国南部，朝鮮半島，日本に分布し，亜種ヤマセミ *Megaceryle lugubris lugubris* は本州，四国，九州，屋久島，種子島に分布している（日本鳥学会 2012）。

中国地方では近年，減少傾向にあり，広島県により準絶滅危惧に（渡辺 2012），島根県により絶滅危惧Ⅱ類に（森 2014），鳥取県により準絶滅危に（吉田 2012），岡山県により絶滅危惧Ⅱ類に（丸山・多田 2020），山口県により絶滅危惧Ⅱ類に（小林 2019）選定されている。

筆者らは，2021 年の繁殖期に，広島県山県郡北広島町においてヤマセミの繁殖状況について調査したので報告する。

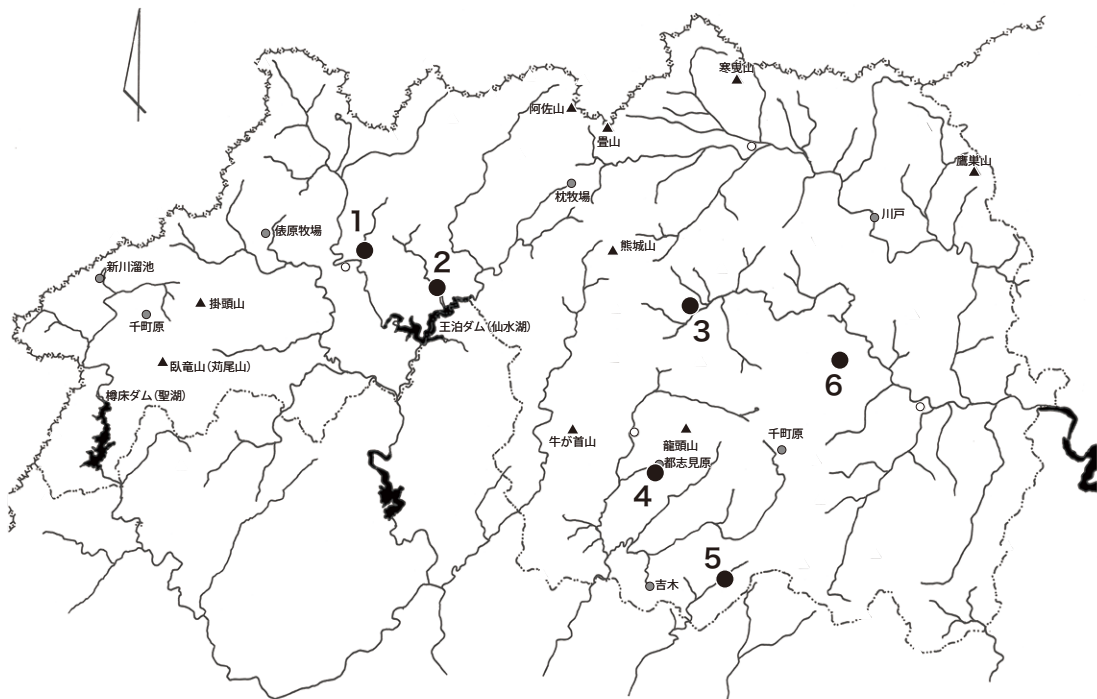


図1 北広島町におけるヤマセミの営巣地

## 調査地

調査地は広島県山県郡北広島町で、標高約 300m から標高約 600m にかけての農耕地帯である。また、太田川水系と江の川水系の上流域に位置する。

## 方法

調査は 2021 年 3 月から 6 月まで行った。観察は 8 倍の双眼鏡または 20 倍の望遠鏡を用い、必要に応じて写真撮影を行った。

## 結果および考察

2021 年 3 月から 6 月にかけての調査で確認された北広島町におけるヤマセミの営巣場所について図 1 に示す。以下に各確認地点で最初に確認した日時と状況を示す。

1. 北広島町川小田 2021 年 4 月 11 日 巣穴のそばでヤマセミを確認
2. 北広島町細見 2021 年 4 月 24 日 巣穴のそばでヤマセミを確認
3. 北広島町志路原 2021 年 6 月 6 日 ヤマセミ 1 羽が巣穴に入る
4. 北広島町都志見 2021 年 3 月 21 日 巣穴掘りを確認
5. 北広島町今吉田 2021 年 3 月 13 日 巣穴掘りを確認
6. 北広島町寺原 2021 年 6 月 11 日 カラスに捕食された巣立ちビナの羽毛を確認

今回の調査でヤマセミの営巣を確認した地点は、北広島町川小田、北広島町細見、北広島町志路原、北広島町都志見、北広島町今吉田、北広島町寺原の 6 か所であった。

北広島町川小田では、2021 年 4 月 11 日に巣穴のそばでヤマセミを確認したが、その後ヤマセミを確認することはできなかった (図版 1-A)。

北広島町細見では、2021 年 4 月 24 日に巣穴のそばでヤマセミを確認したが、その後ヤマセミを確認することはできなかった (図版 1-B)。

北広島町志路原では、2021 年 6 月 6 日にヤマセミが巣穴に入るのを確認したが、その後ヤマセミを確認することはできなかった (図版 1-C)。

北広島町都志見では、2021 年 3 月 21 日に巣穴掘りを確認したが、その後ヤマセミを確認することはできなかった (図版 1-D, E)。

3月		4月		5月		6月	
● 巣掘り #1		● 巣掘り #2		● 産卵期		● 育雛期(36日間と仮定)	
● 抱卵期(親鳥の姿は未確認)							
13日	1720日	23日	27日	11日	21日	21日	22日
下の穴掘り始め	何らかの理由(例:石)で中断 大きな変化なし	上の穴掘り始め	上の入口も同径となる	巣穴からの飛び出し	給餌確認	1羽巣立ち:メス	3羽巣立ち:メス、メス、オス

図 2 今吉田のつがいの繁殖スケジュール

北広島町今吉田では巣立ちを確認した（図版 2-A）。2021 年 6 月 21 日にメス 1 羽，6 月 22 日にメス 2 羽とオス 1 羽の巣立ちを確認した（図版 2-B）。また，育雛後期にはカワムツ *Nipponocypris temminckii* を給餌することが多かった（図版 2-C）。この繁殖地は地権者の理解があり，ヤマセミが巣立つまで営巣崖の採土を中断していた。このつがいの繁殖スケジュールを図 2 に示す。

北広島町寺原では巣立ちを確認した（図版 2-D）。2021 年 6 月 11 日にカラスに捕食された巣立ちびなの 2 羽分の羽毛を確認した。（図版 2-E）。

今回の調査で，6 か所の営巣地のうち，繁殖に成功したのを確認できたのは今吉田の 1 ケ所のみであった。寺原ではひなは巣だったようであるが，うち 2 羽はカラスに捕食されている。残り 4 か所では何らかの理由で途中放棄していた。なお，2021 年 7 月 1 日に北広島町新庄で巣立ちびな 2 羽が確認されている（中崎悦子 私信）。

今回の調査で確認された北広島町内におけるヤマセミの営巣地は 6 か所であり，うち 4 か所は途中放棄している。近年のヤマセミの急激な減少の要因としては，営巣崖の採土による営巣放棄等が考えられる。今後，北広島町におけるヤマセミの繁殖状況を注意深く見守るとともに，繁殖地における繁殖期の採土の停止などの対策の検討が必要である。

## 謝辞

本調査を行うにあたり，北広島町内におけるヤマセミの生息状況について情報をいただいた中崎悦子氏をはじめとする日本野鳥の会広島県支部の方々に心からお礼を申し上げます。

## 引用文献

- 小林 繁樹（2019）ヤマセミ．レッドデータブックやまぐち 2019－山口県の絶滅のおそれのある野生生物－，109．山口県環境生活部自然保護課
- 丸山 健司・多田英行（2020）ヤマセミ．岡山県版レッドデータブック 2020－絶滅のおそれのある野生生物－，93．岡山県環境文化部自然環境課
- 森 繁明（2014）ヤマセミ．改訂・しまねレッドデータブック 2014 動物編－島根県の絶滅のおそれのある野生動物－，54．島根県環境生活部自然環境課
- 日本鳥学会（2012）日本鳥類目録 改訂第 7 版．日本鳥学会，三田
- 渡辺 健三（2012）ヤマセミ．広島県の絶滅のおそれのある野生生物（第 3 版）－レッドデータブックひろしま 2011－，78．レッドデータブックひろしま検討委員会
- 吉田 良平（2012）ヤマセミ．レッドデータブックとっとり改訂版－鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物－，54．鳥取県生活環境部公園自然課



A : 川小田の営巣地 2021年7月11日  
B : 細見の営巣地 2021年6月21日  
C : 志路原の営巣地 2021年6月13日  
D : 都志見の営巣地 2021年6月28日  
E : 都志見の巣穴掘り 2021年3月21日



A : 今吉田の営巣地 2021年6月10日  
B : 今吉田の巣立ちびな 2021年6月22日  
C : 今吉田の親鳥 2021年6月25日  
D : 寺原の営巣地 2021年6月11日  
E : カラスに捕食された巣立ちびな 2021年6月11日